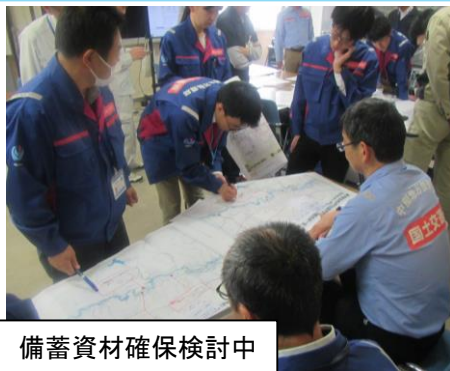


令和7年度堤防決壊シミュレーションを実施しました

堤防決壊シミュレーションとは

堤防決壊シミュレーションとは、洪水等による堤防決壊に迅速な対応を行うため、堤防決壊時の緊急 復旧工法等を検討するシミュレーションです。
天竜川上流河川事務所では平成25年から毎年、堤防決壊シミュレーションを実施しています。

堤防決壊シミュレーション 5月26日(月)



備蓄資材確保検討中



施工手順検討中



検討内容の発表



河川工法伝承研究会の方の講評

事前の勉強会 5月20日(火)・5月21日(水)



現場見学



被災状況の想定・復旧方法の検討



河川工法伝承研究会の方の講義

参加機関

高森町役場
箕輪町役場
長野県南部防災対策協議会
河川等災害アドバイザー
河川工法伝承研究会
中部地方整備局河川工事課
天竜川上流河川事務所

全53人

堤防決壊シミュレーションの実施概要

今年度は、高森町、箕輪町の2カ所において侵食による堤防の同時決壊を想定しました。
災害発生時に復旧対応などで実際にやり取りをする高森町役場・箕輪町役場の職員、現場での施工を行う長野県南部防災対策協議会に参加いただき、より実災害時の対応に近い復旧工事の検討(施工手順・資材運搬計画の検討)を行いました。また、河川等災害アドバイザー¹⁾、河川工法伝承研究会²⁾にも協力いただき、過去の災害時の経験や専門的な知識を踏まえて災害対応のアドバイスをいただきました。
当日のシミュレーション以外に現場の留意点、堤防決壊の要因・メカニズム、過去の被災経験等の職員の技術向上のための勉強会を行いました。
このシミュレーションを通して、実際の災害を経験していない職員も災害対応の作業や流れを確認し、堤防決壊を想定した災害対応準備を行いました。

1) 河川等災害アドバイザーは、中部地方の直轄河川・海岸・砂防・ダム等における風水害等による大規模災害発生時に河川、海岸及び砂防施設等の災害対応対策のアドバイザーとして支援活動を行うものです。
2) 河川工法伝承研究会は、元国土交通省職員の経験者から構成し、経験工学としてつちかかってきた河川工法を次世代に伝承し、新技術・新工法と相まって発展させ、河川事業の円滑な推進に寄与するための研究会です。